

# 笠間市駅周辺 整備活性化プラン

～ 復旧から「成長」へ ～

市は、駅周辺地区の都市的な位置付けと未利用公有地等における拠点整備の課題を整理し、今後の施策の基本方針を定めた「笠間市駅周辺整備活性化プラン」を策定しました。

本プランは「地域の活性化」「駅利用者および市民の利便性向上」「駅空間のイメージ向上」「未利用公有地の有効活用」という目的を持って、これまで進めてきた基盤整備などの効果を高め、賑わいのある持続可能なまちを構築し、総合計画に定める「文化交流都市」という市の将来像の実現をめざすものです。

## プランの背景

笠間市は、笠間地区・友部地区・岩間地区の3つの既存市街地があり、JR常磐線とJR水戸線の各駅、そして笠間稲荷神社を中心に商店街が形成され、街の賑わいを創出し、活性化が図られてきました。

しかしながら、少子高齢化の進展などによる人口減少社会の到来と中心市街地の空洞化が起こるとともに、人々の生活スタイルや居住環境に対する価値観が大きく変化してきました。また、東日本大震災



友部駅

をはじめとする自然災害の発生や、市街地の拡大による都市基盤の維持コストの増大が懸念されることから、駅周辺を中心とした地域の活性化が求められています。



岩間駅

## 整備地区の選定

市内には、6つの駅がありますが、現状と課題は次のとおりです。

「笠間駅周辺地区」は、駅南地区において都市計画決定がなされている駅前広場と都市計画道路の見直しの検討や国道355号バイパス整備の影響を見極める必要があります。また、笠間稲荷神社周辺まちづくり推進事業において旧ホテル井筒屋の土地建物を取得し、拠点整備を行い、笠間稲荷神社周辺の活性化を推進していきます。



【友部駅周辺地区】「岩間駅周辺地区」

は、駅舎・自由通路及び駅前広場が整備されたことによる周辺の整備、また未利用地となっている駅周辺の市有地の有効活用を検討が必要となっています。

【稲田駅周辺地区】については、現在JR東日本において、駅舎の改築工事が推進されていることにより発生する未利用地に、新たな施設を整備することで地域の活性化が求められています。

【福原駅周辺地区】は、稲田駅と同様に駅舎の改築工事が進められています。駅周辺に未利用公有地が存在しないことや乗降客の利用状況を見極める必要があります。

【穴戸駅周辺地区】については、踏み切りの拡幅工事を行うなど、身近な自然空間である北山公園へのアクセス性の向上を推進することになっており、今後、北山公園の玄関口という視点で検討を進めていく必要があります。

これらのことから、今回の笠間市駅周辺整備活性化プランにおいては、未利用公有地の有効利用を図り、活性化を推進する駅周辺地区として、「友部駅周辺地区」「岩間駅周辺地区」「稲田駅周辺地区」を選定し、整備地区とします。

稲田駅周辺



駅舎改修（JR事業）  
（石の百年館整備予定地）



駅前市有地  
（公園整備予定地）

岩間駅周辺



駅南広場  
（地域交流センター整備予定）



旧岩間町役場跡地  
（都市公園整備予定地）

友部駅周辺



駅南市営駐車場  
（地域交流センター整備予定地）



南友部ふれあい公園  
（市立病院等整備予定地）

健康都市づくり

防災力向上

地域活性化  
定住化

プランの  
位置づけ

都市計画  
マスタープラン

総合計画  
3カ年実施計画

未利用地  
財産利活用  
基本方針

基本方針

笠間市駅周辺整備活性化プラン

（市としての方針・課題整理）

実行フェーズ

個別整備計画

地域交流センター整備計画  
（市民活動センター）

石の百年館 整備計画

高齢者福祉計画・介護保険事業計画

市立病院 整備計画

駅周辺の都市的位置づけ  
未利用公有地の拠点整備

【市民協働の理念】  
基盤整備の内容、  
地域活性化の方策について  
市民意見を踏まえ計画策定

【整備目標期間】  
おおむね平成30年度を目標



# 駅周辺整備活性化プラン



【整備期間】

おおむね平成30年度を目標

## 友部駅周辺整備計画

友部駅は、駅舎・自由通路、県道杉崎友部線の整備を完了しましたが、その周辺は、空き店舗が多く、特に北口は商業施設もなく駅舎だけが際立っています。このため地域交流センターを整備し、多くの世代が行き交う賑わいの創出や市立病院などを整備し、市民福祉(医療・福祉・子育て)の増進、駅利用者および地域住民の利便性向上という視点で計画を進めます。

### 【整備施設】

#### ①地域交流センター(市民活動センター)

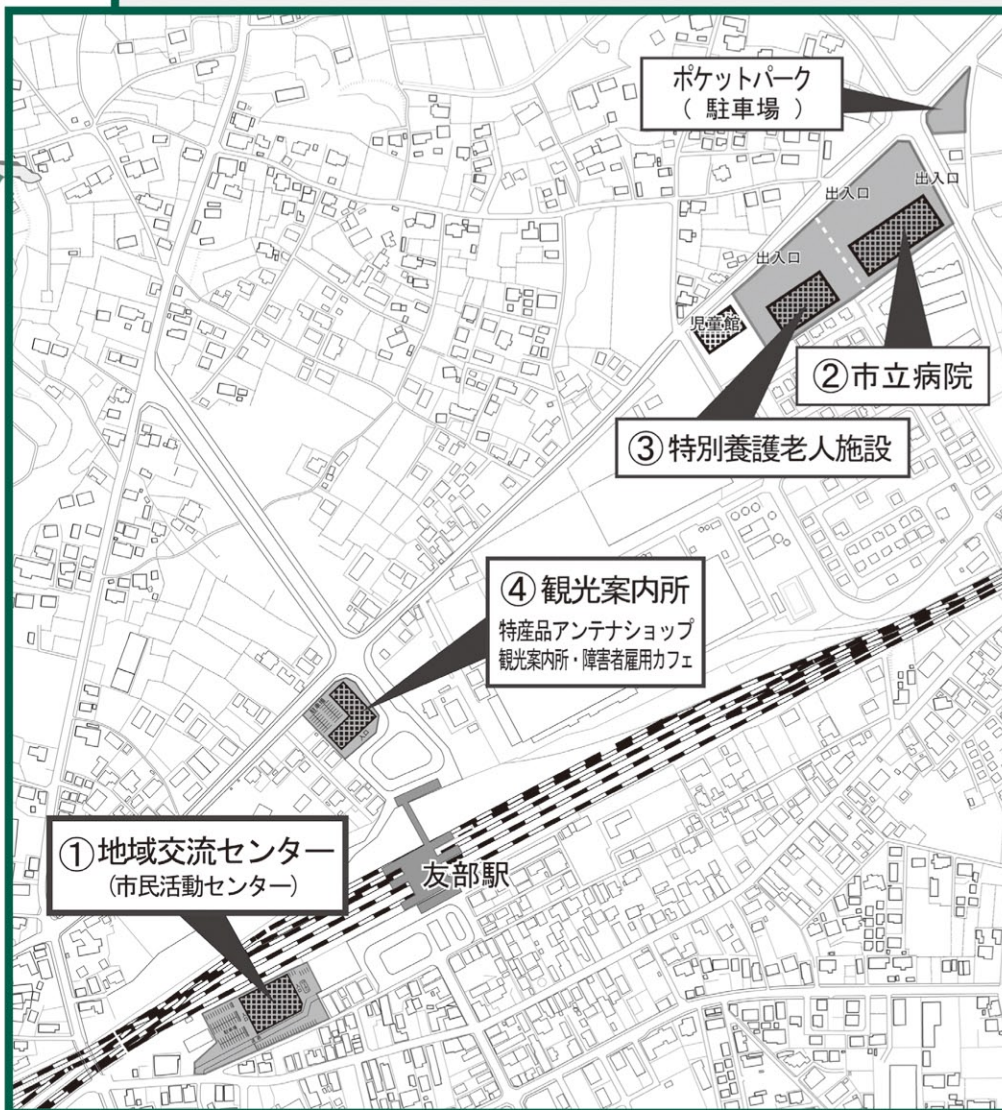
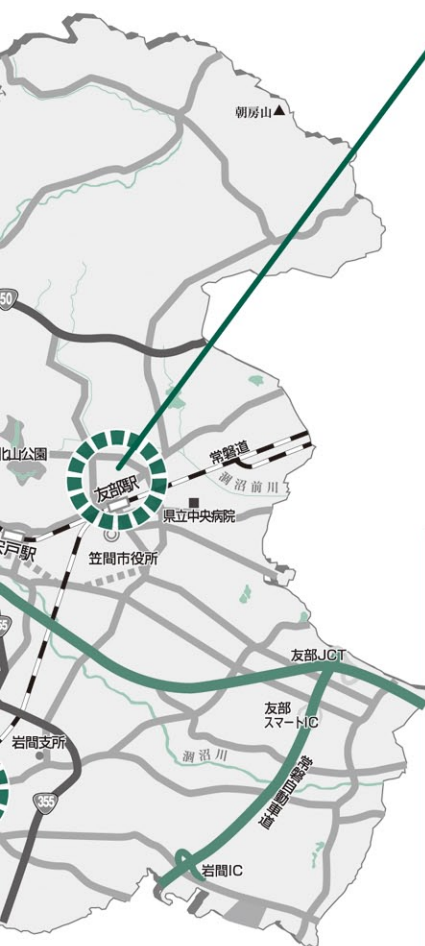
- ・地域社会のふれあいと連携を深め、地域活性化を推進できる拠点
- ・公益的な活動をしている市民活動団体の支援や市民が公益的活動に参加するための環境づくり
- ・生活習慣病予防のための健康増進機能

#### ②市立病院

- ・築33年の建物で老朽化・狭あい化、安全性向上、現在地での建替えが困難
- ・在宅医療に対応できる医療体制の確保

### 【誘導施設】

#### ③特別養護老人施設 ④観光案内所





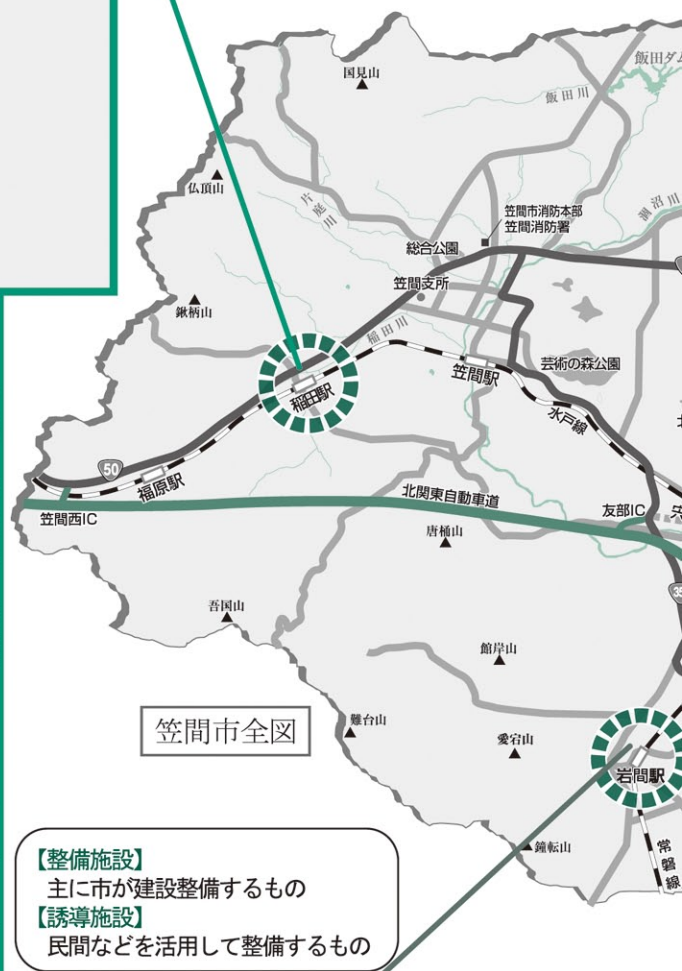
## 笠間市

【整備施設】

- ・ 地場産業をPRするための施設
- ・ ジオパークのジオサイトとして稲田御影石の資料館の整備
- ・ 石材業を生かした観光業および地元住民が交流できる施設

- ・鍋島彦七郎さんの碑の再建と稲田石PRのモニュメント設置
- ・石材業の街のイメージを創出

A map of the area around Inada Furukai Park (いなだふれあい公園). The park is a green area in the center. To its north is a road labeled (県道). To its west is a road labeled (市道). To its south is a road labeled (市道). To its east is a road labeled (市道). The map also shows the Inada Furukai Park (いなだふれあい公園) and the Inada Furukai Park (いなだふれあい公園). Other labels include 歩道整備 (sidewalk improvement), 市営駐車場 (municipal parking lot), 市営駐輪場 (municipal bicycle parking lot), 新・稲田駅 (Shin-Inada Station), and ①石の百年館 (Ishino Hyakunennkan). A callout box labeled ②公園整備 (Park Improvement) points to a shaded area within the park.



【整備施設】

- ・ 地域社会のふれあいと連携を深め、地域住民の活性化を進める拠点
- ・ 生活習慣病予防のための健康増進機能
- ・ 愛宕山周辺への観光ルートの再構築と観光客拠点機能
- ・ 観光客と地元住民の交流ができる機能

### 歩行者空間整備（歩道整備）

③ 都市公園用地

屋外トイレ

歩道

旧役場跡地

誘導看板

すずらん通り

県道

① 地域交流センター  
(健康増進機能)  
(観光客拠点機能)

④ 地域安全機能 (交番)

⑤ 踏切改良 (県事業)

駅南広場

SATO